南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和　7　年　7　月	工事概要	【ポンプ設備更新】 ・原水ポンプ11kW　1台 ・手動仕切弁125A　1台 ・逆止弁125A　１台 ・配管(SUS304)125A　2本
契約番号	2025000666		
路線名			
工事等名	牛越浄水場 工事 No.1原水ポンプ更新工事		
工事等場所	南相馬市　原町区牛越字下川原　地内		

総工事費	当初請負		仕様概要	1．設計図書及び特記仕様書に準ずること。
	当初設計			
	変更請負			2．詳細は監督員の指示によること。
	変更設計			

工　事　費　総　括　表

費　目	金　額	工事価格	消費税相当額	摘　要
本工事費				
附帯工事費				
測量及び試験費				
用地費及び補償費				
機械器具費				
営繕費				
工事雑費				
工事費				
事務費				
事業費				

最低制限価格の設定（算定）について

牛越浄水場No.1原水ポンプ更新工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。

※該当工事には ✓ のチェック表示をしております。

工事に伴う最低限必要な費用＝最低制限価格（P）

■ 最低制限価格（P）の設定範囲 ： 予定価格（入札書比較価格）の75％～92％＋消費税額

※ 予定価格（入札書比較価格）の75％～92％の範囲内で算出（1千円未満の端数は切り捨てる）した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格（P）とする。ただし、上記の設定範囲を上回った（下回った）場合には、それぞれ設定範囲の上限（下限）値とする。

算定式

☐ 一般土木工事（橋製作・架設工を含む）

直接工事費×97％＋共通仮設費×90％＋現場管理費×90％＋一般管理費×68％

☐ 建築工事（一般・解体工事共通）

直接工事費×97％＋共通仮設費×90％＋現場管理費×90％＋一般管理費×68％

※建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

☐ 舗装工事

直接工事費×97％＋共通仮設費×90％＋現場管理費×90％＋一般管理費×68％

☐ 水道工事

直接工事費×97％＋共通仮設費×90％＋現場管理費×90％＋一般管理費×68％

☐ 暖冷房衛生設備工事

直接工事費×97％＋共通仮設費×90％＋現場管理費×90％＋一般管理費×68％

☐ 電気・通信設備工事（製作・据付共通）

（直接製作費＋直接工事費）×97%＋（共通仮設費＋間接労務費）×90%＋（現場管理費＋工場管理費＋機器間接費）×90%＋一般管理費（製作分＋据付分）×68%

☑ 機械設備工事（製作・据付共通）

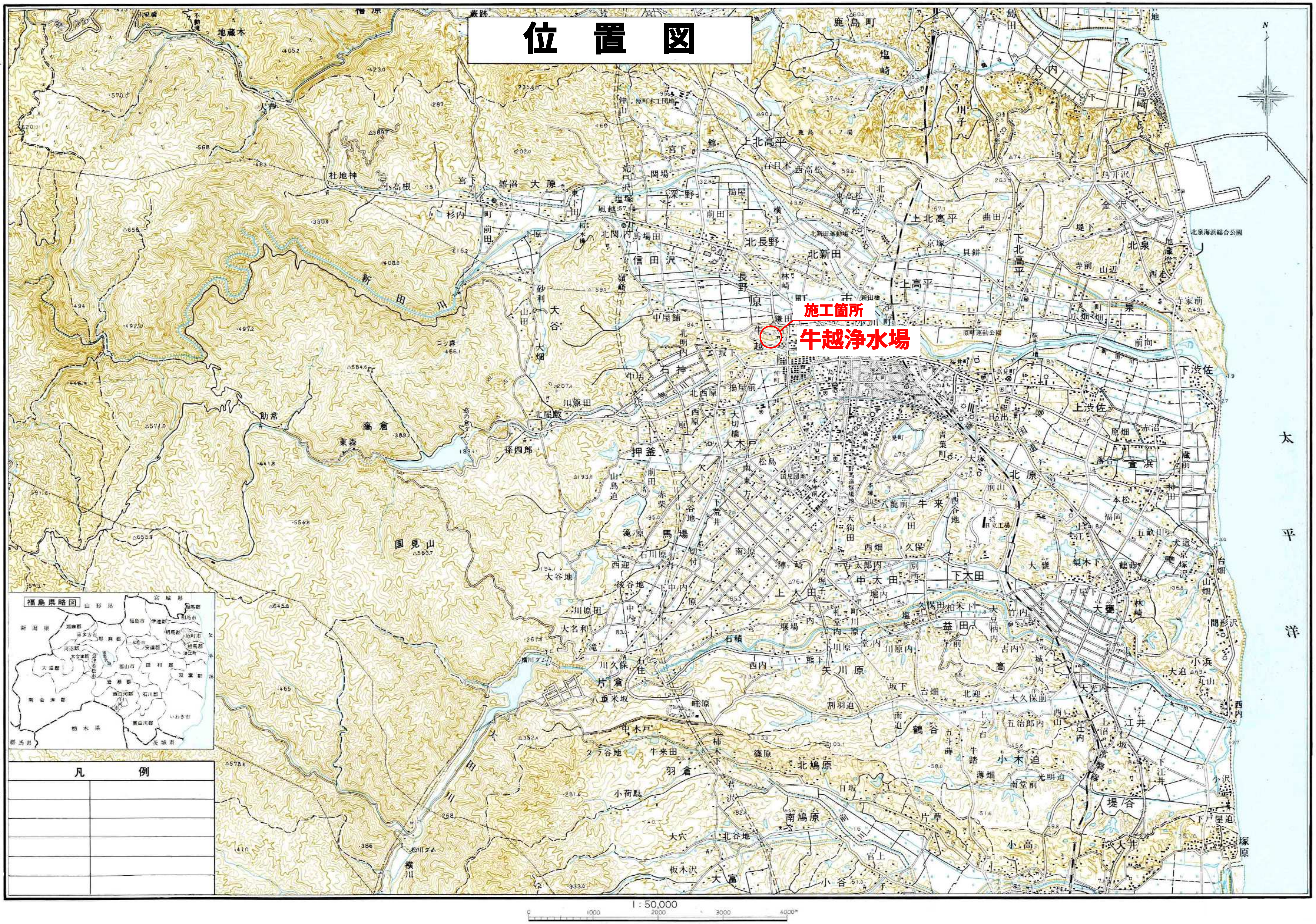
（直接製作費＋直接工事費）×97%＋（共通仮設費＋間接労務費）×90%＋（現場管理費＋工場管理費＋据付間接費＋設計技術費）×90%＋一般管理費×68%

※直接製作費：製作工事に係る経費（材料費、機器単体費、労務費　等）

※直接工事費：据付工事に係る経費（輸送費、材料費、労務費、仮設費　等）

この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の５万分の１地形図を複製したものである。（承認番号）昭61、東複、第261号

位　置　図



新日本航測株式会社調製

総 括 情 報 表

事務所	D1 南相馬市	
設計書名	実施設計書　　当初　00000000000	
変更回数	0	
事業名		
適用単価区分	1　実施単価	
適用単価地区	71 S（相双１）地区	
単価適用日	00-07.07.15(0)	
諸経費体系	8　ポンプ場・処理場	
ファイル名	00000000000当初牛越浄水場No.1原水ポンプ更新工事	
	当 世 代	前 世 代
前払率	40	
施設区分	02　水処理施設	
冬期割増	00　冬期割増なし	
総合試運転費計上区分	00　総合試運転費計上なし	
契約保証補正	01　金銭的保証	
週休二日補正	02　4週8休以上（月単位）	
機械設計技術費区分	00　設計技術費計上なし	
電気設計技術費区分	00　設計技術費計上なし	

工種条件

条件	条件値	名称
A　水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B　山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり

金抜き

機械設備工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械設備工事費					X1000
機器費	1	式			Y1810 工種　第0001号表
材料費	1	式			Y1999 工種　第0002号表
労務費	1	式			Y1999 工種　第0003号表
複合工費	1	式			Y1999 工種　第0004号表
小計					
補助材料費		式			
機械経費		式			
仮　設　費		式			Z0001
直接工事費計					
共通仮設費率		式			Z0009
共通仮設費					

金抜き

機 械 設 備 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
純工事費					
現場管理費		式			
据付間接費		式			
据付工事原価					
工事原価					
一般管理費等		式			
工事価格					
工事価格（改め）					
消費税相当額		式			
工事費					
機械設備工事費					
工事費計					

金抜き

工　種　明　細　表

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
機器費 Y1810					工種　第0001号表
原水ポンプ 1.83m3/min×24m×3,000min-1×11kW 型式125BMS511A相当品	1	台			W1000
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
＊＊					
材料費 Y1999					工種　第0002号表
＊調整データ＊		調整式			#0040
手動仕切弁 125A、外ねじ 型式FC200、JIS10K-F　相当品	1	台			W1000
逆止弁 125A 型式FC200、JIS10K-F　相当品	1	台			W1000
2F配管 125A SUS304　sch10　1260mm	2	本			W1000
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

南　相　馬　市

金抜き

工　種　明　細　表

工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
労務費 Y1999					工種　第0003号表
一般労務費					Y2999
＊調整データ＊		調整式			#0040
普通作業員 [0.828]	0.37	人			R0030 00 070715
配管工 [0.764]	1.92	人			R0300 00 070715
電工 [0.706]	1.00	人			R0380 00 070715
技術労務費					Y2999
＊調整データ＊		調整式			#0040
機械設備据付工 [0.699]	3.40	日			R3020 00 070715
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
＊＊					
複合工費 Y1999					工種　第0004号表
保温材補修 取外し、復旧	1	式			W1000
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

金抜き

特記仕様書

第１条　本仕様書は、南相馬市が実施する牛越浄水場 No.１原水ポンプ更新工事に適用する。

第２条　本工事遂行に当たっては、本仕様書・その他関連諸法規に従い、監督員と協議の上、内容主旨を十分把握の上施工すること。

第３条 工事内容

１　工事の種類

【ポンプ設備更新】

・原水ポンプ　１台

（出力 11kW、吐出し量 1.83m3/min、揚程 24m、200V）

参考：エバラ 125BMS511A 相当品

・手動仕切弁 125A　１台

（口径 125A、外ねじ、内面水道用液状エポキシ樹脂塗装、接液部 SUS304）

参考：エバラ FC200 10K-F 相当品

・逆止弁 125A　１台

（口径 125A、内面水道用液状エポキシ樹脂塗装、接液部 SUS304）

参考：エバラ FC200 10K-F 相当品

・2Ｆ配管 125A　２本

（SUS304　sch10　1260 ㎜）

・撤去したポンプ部材等の処分含む。

※監督員と協議の上、試運転調整のこと。また、既設品の取扱は監督員の指示に従うこと。

２　工事の期間・実施月

本仕様書にのっとり監督員と打合わせにより時期を決定し、工期内に完了すること。

３　予防保全

工事施工において障害が認められるものについては、速やかに監督員に報告し指示を受けること。

４　提出書類

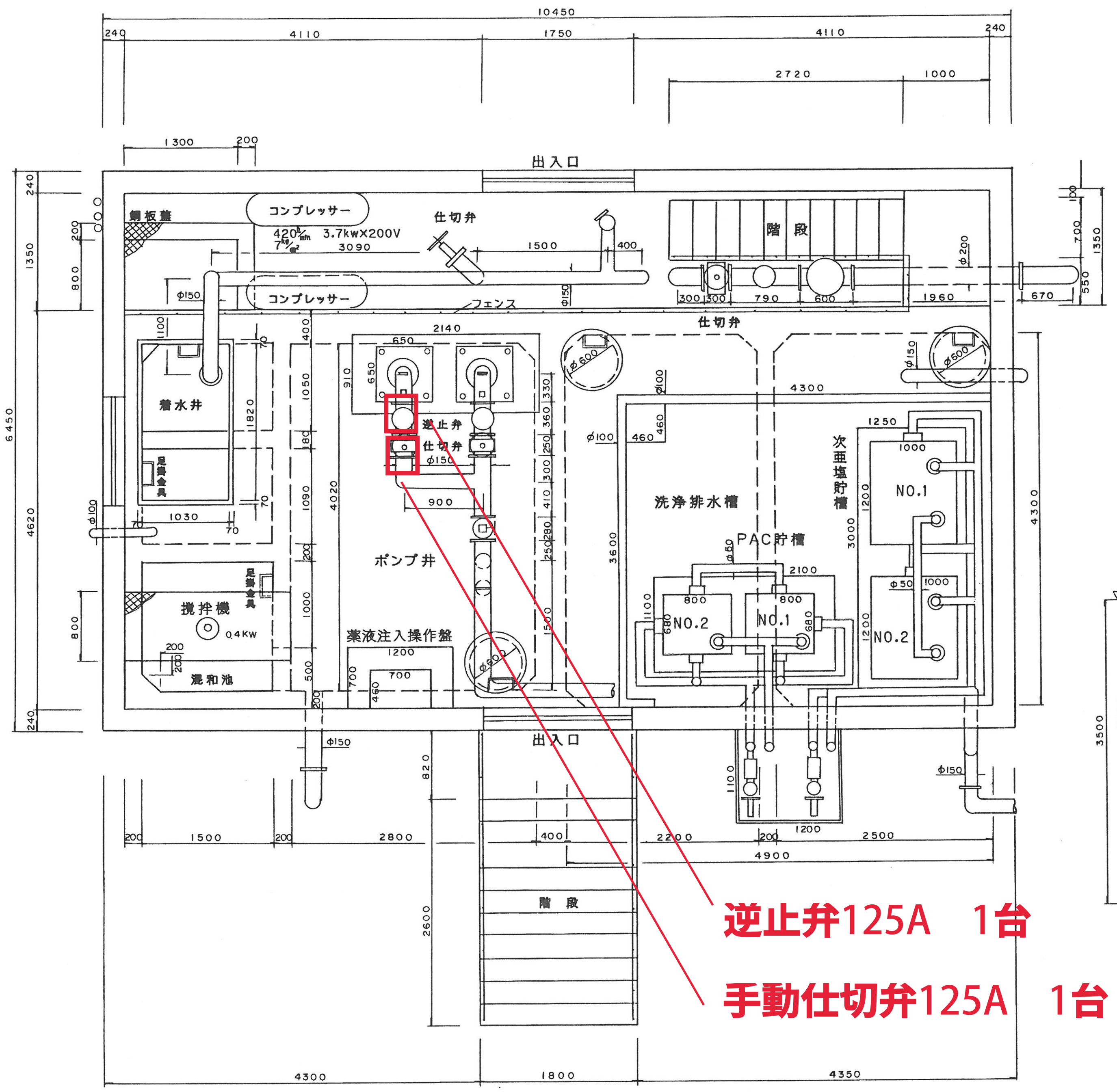
受託者は工事竣工時に下記書類を速やかに提出しなければならない。

・　竣工図書１式　１部

第４条　環境への配慮

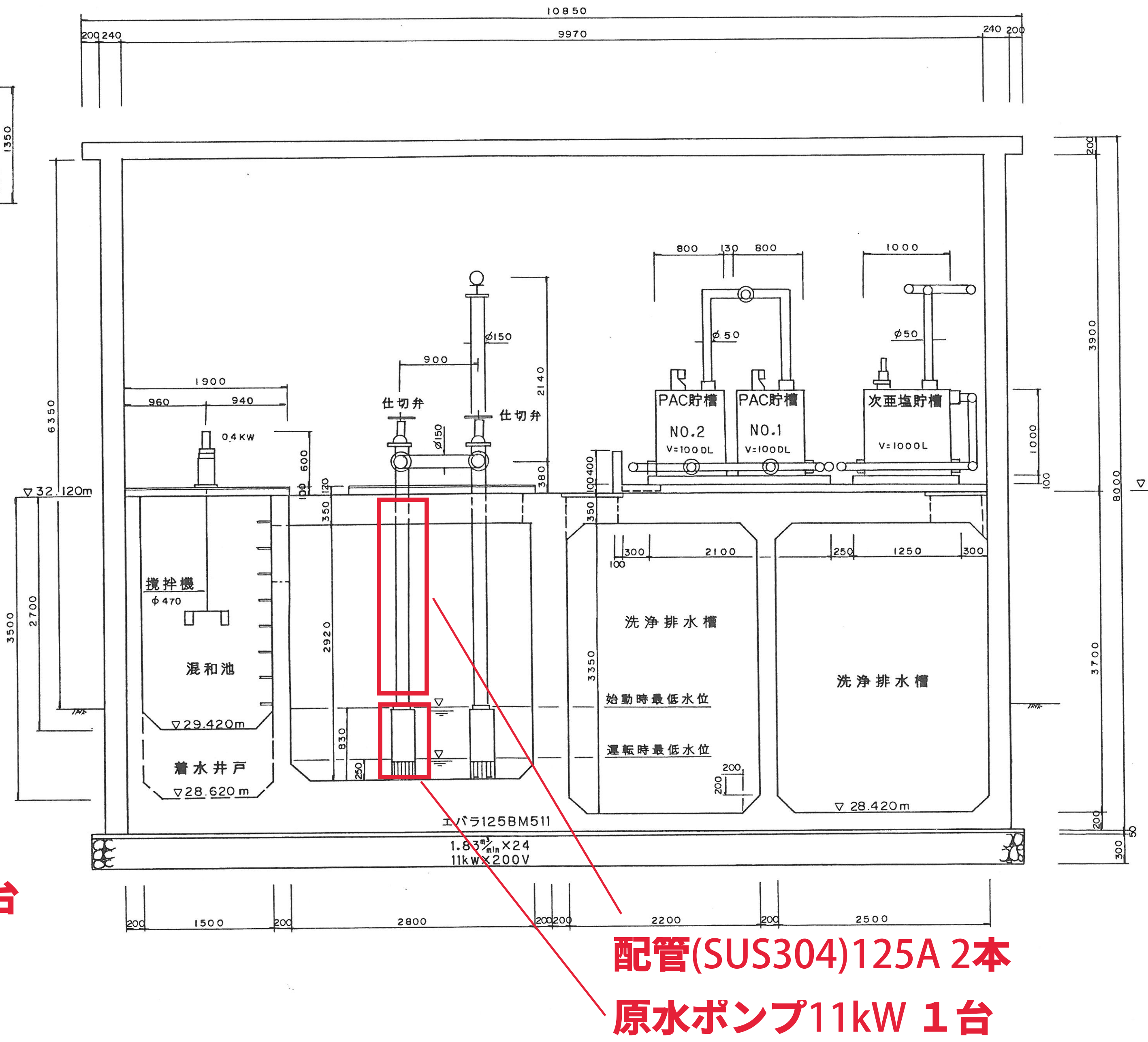
南相馬市の環境マネジメント活動について理解、協力し、南相馬市環境配慮指針集に基づき、環境に配慮した活動を行うものとする。

平　面　図　S=1:50



断　面　図　S=1:50

更新箇所



水道施設管理台帳			
施設名	牛越浄水場旧除鉄装置	許可年月日	年　月　日
所在地	原町市大字牛越字下川原地内	整理番号	—
作成者名	原町市水道事業所	作成年月日	平成9年3月19日

見積参考資料

単価コード	単価名称・規格１・規格２	単　位	単　価	管　理　費　区　分
W1000	原水ポンプ 1.83m3/min×24m×3,000min-1×11kW 型式125BMS511A相当品	台	1,389,720	全間接費対象額
W1000	手動仕切弁 125A、外ねじ 型式FC200、JIS10K-F　相当品	台	121,500	全間接費対象額
W1000	逆止弁 125A 型式FC200、JIS10K-F　相当品	台	126,000	全間接費対象額
W1000	２Ｆ配管 125A SUS304　sch10　1260mm	式	163,200	全間接費対象額
W1000	保温材補修 取外し、復旧	式	126,000	補助材料費の対象